



文：小川 康成

当たらなくても「ひき逃げ」で書類送検！？

皆さん、こんにちは。まだインフルエンザが猛威を奮っておりますが、追い打ちをかけるように花粉シーズンにも突入しそうですね。今年の花粉は去年の2.7倍とか？私も薬を飲み対策を始めました。杉には罪はないですが、毎年杉の木が恨めしくなる季節です。



さて、昨年11月に自転車に乗っていた30代男性（医師）が、イヤホンを付け一時停止せず交差点へ進入し、自動車とぶつかり、そのはずみで自動車は別の自転車女性を跳ねてしまいました。しかし自転車の男性はケガをした自転車女性を救護せず、壊れた自転車を放置してそのままタクシーに乗って立ち去りました。この行為が道路交通法上の「ひき逃げ」と「重過失傷害」として書類送検されたというニュースがありました。

直接ぶつかっていない相手でも「ひき逃げ」になるという事を覚えておきたいですね。

<要点>

- 1：自転車の被疑者（医師）は、自動車と衝突したはずみで自動車は跳ねた別の自転車の女性とは、直接接触しなかった。
- 2：自動車と衝突後に、自転車の被疑者は壊れた自転車を放置しタクシーで現場を立ち去った。
- 3：事故の原因は、自転車側に一時停止ラインのある交差点へイヤホンを付け、停止せずにそのまま侵入した被疑者に原因の多くが有る。



日本経済新聞 2019年1月7日（夕刊）
社会面より図を抜粋

このように事故を誘発した場合、直接接触が無くてもケガ人の「救護義務」が生じる事になります。あと、自転車も軽車両に含まれるので、イヤホンを付けたり、傘を差したまま自転車を運転し事故の原因をつくった場合、過失を問われる可能性が高いです。

更に、今回の事故原因が医師に有ると認定されれば、被害者に対する賠償金の支払いも必要になります。今回の被害者は、脳挫傷で一時意識不明の重体、その後通院中との事。自転車といえども、賠償保険に加入していなければ思わぬ賠償金を自己負担で支払う事にもなりかねません。「**個人賠償責任保険（特約）**」や**日常生活賠償責任保険（特約）**」で備える事も大切です。



また、自動車の運転者側としてはこのように避けきれない形で事故を起こしてしまい、加害者になるケースもありますので、ご自身の潔白を証明する有効な手段として「ドライブレコーダー」を車に付ける事が有効です。最近では、購入しなくても自動車保険に特約として付けると後日保険会社からドライブレコーダーが送付され、契約をしている間借りられ、事故の時点には保険会社と連絡できる等、新しいタイプの自動車保険の特約も注目を集めています。

メンバー 近況報告

まだまだ向上！

この時期は風が強い日もあって寒さをより感じることが多いですが、家に引きこもらないようにテニスをしてきました。学生の際はシングルス練習しかしてこなかったのですが、社会人になりシングルの相手もあまりおらず、練習もダブルス中心になってシングルの試合に出ることもあまりなくなっていました。そのおかげで苦手だったボレーは学生時代より上達し、試合でも戦えるようになってきました。ダブルスで少し勝てるようになっていたので、去年はシングルスにも挑戦してみたのですが惨敗…。一日で3試合もすると、思ったように動けず手も足も出ない状態でした。体力切れで負けはかなり悲しかったです。技術的には成長していますが、学生の時のように動けなくなる年齢になってしまっていることを実感したので、試合に向けしっかり練習して、せめて最後までやりきれ体力をつけて挑みたいと思います。試合の会場でお会いする先輩方には30代40代となってくると、ケガをしないように気をつけないといけなと注意されているので、体のケアも気をつけながらやりたいと思います。

岩瀬



花粉対策お早めに！

花粉がやってくる季節になりました…(;▽;)花粉症の人にとってはつらい時期ですね。私も高校生の頃から花粉症なので毎年この時期は憂鬱です。スギ花粉が2月中旬から飛び始め、終わったかと思えば3月からはヒノキ花粉が飛び始めます。複数アレルギーがあると長い期間で症状が出るので鼻をかむ回数が増え、ティッシュで肌が荒れてヒリヒリするので保湿ティッシュが欲しくなりますよね。

保湿ティッシュといえば某セブなティッシュ等、最近は様々な種類が出ています。どんな仕組みで保湿ティッシュがあんなに柔らかいのか気になったので調べてみました。

まず、この保湿ティッシュはいつできたのか？なんと25年前に日本で初めて開発されたのだそうです。まさか日本で開発されたものとは知らず、驚きました。開発したのは河野製紙株式会社さん。社長さん自身が花粉症で「頻繁に鼻をかむ人でも安心して使えるものを」と考え2年がかりで開発したのだそうです。

保湿ティッシュの仕組みは、普通のティッシュの2倍の水分を含ませることで柔らかさを出し、化粧品や食品に使われている保湿剤を使うことで含ませた水分がなくなってしまうようにしているそうです。箱に詰める時の苦勞など、沢山の試行錯誤で肌が荒れにくいティッシュが生まれたのだですね。



↑ <https://www.kawano-p.co.jp/>

河野製紙さんの
保湿ティッシュのキャラクター
私も持っていました



小池奈菜子

リハビリに通って

30.5.17に大腿骨人工股関節置換手術をしてから、今現在週に2回運動中心のリハビリに通っています。運動だけするのかと思いきや脳トレも入ります。簡単そうなのですが、左右別々の動作をするというのは頭で考えながらやらなくてはいけないので大変です。

リハビリの先生は「出来なくてもいい、間違えてもいい、でもそれをする事で脳を使うことになる」と励ましてくれます。指遊びで右手をキツネ、左手を鉄砲にし、それを左右入替するとか、一人じゃんけんをやるとか、これはお風呂に入ってもできることだから、自分でもやるようにとされています。

先日もテレビで脳機能が少し低下気味で気力がなく、一日中ぼーっと過ごしている人が、ウォーキングをしながら川柳を読むということを2週間続けたら、脳の血流が良くなり、初日には1句も読めなかったのに、後半は何句も浮かんでくるという実験をやっていました。やはり、積極的に取り組まないといけないなと思いました。

小川 とも子

〜シルバー川柳〜
*年賀状、出さずにいたら死亡説
*ポックリと逝きたいくせに医者通い
*クラブ会、それぞれ持病の専門医

